

【学校だより】

ほさかっこ

穂坂っ子

【学校教育目標】

心豊かで
かしこく
たくましい子ども

平成29年10月13日 NO.7 穂坂小学校長

運動会… それは、子どもたちが一步一步成長していく姿が見える時！

保護者の皆さま…たくさんの声援、そしてご協力、ありがとうございました！

二学期の行事の中でも、一際華やかな一大イベント…、それが「秋季大運動会」です。運動会のスタイルは地域や学校ごとに異なりますが、感動を与えてくれる主人公は、やはり子どもたちです。「追い越せないとわかっていても、最後まであきらめずに歯を食いしばって走る姿」「ひたすら拾っては投げ、拾っては投げの繰り返しであっても、無心でお手玉を投げ入れる姿」「芸術としての民舞のよさはわからなくても、大地にしっかり足をつけ、腰を落として踊る姿」「世界遺産を表現するために仲間を信じて目標に向かって努力する姿」「全身の力を振り絞って一心不乱に綱を引く姿」…『がんばろう！やりぬこう！』という思いを込めた無邪気な姿が多く感動をうみました。



運動会に向けて一生懸命練習に取り組んだ子どもたち。その取り組みを称えるように力強い声援を送ってくださった保護者の皆様方。子どもたちはその声援から多くの勇気もらったにちがいありません。

また、PTA役員の皆様方や保護者の皆様方に、準備から後片付けまで影の部分で運動会を支えていただいたからこそ、子どもたちが自分の力を精一杯発揮できたのだと思います。ご協力本当にありがとうございました。

これからも子どもたちの成長がたくさん見られるよう、次なる目標に向けて職員一同取り組んでいきますので、今後ともご支援よろしくお願ひいたします。

シリーズ⑦

褒め言葉の効用！

さりげない一言が、あたたかい！

「なるほど」「そうだね」「ふんふん」「ほう〜」「いいね」等の言葉（うなずきや相づち）は、子どもに安心感を与えます！

話をしている時に、相手が上手に「うんうん」と、うなずいてくれると気分がいいものです。自分の話をきちんと聞いて、理解し、肯定していると感じるからです。子どもも同様です。首を縦に振るだけの簡単なしぐさでも、うなずきの効果は強いものです。子どもが話し始めたら「うなずき」と「相づち」を意識しながら、承認したり、同意を表したりすることが大切です。そして、時には「それってどういうこと？」と疑問を投げかけると、話の内容はさらに深まります。「聞いてもらえて嬉しい」「話すのは楽しい」…これこそコミュニケーション力を高める第一歩です。

教育実習生 紹介



教育実習生の大柴先生です。10月3日から10月末まで、4年生の教室で教師になるための実習を行っています。毎日校庭で子どもたちと遊んだり、児童の学習指導や生活指導をしたりして、今では穂坂小の一員として活躍しています。

教育実習生として都留文科大学から来ました大柴伶です。穂坂小学校の素直でとても元気な子どもたちに囲まれ、毎日楽しく実習を行っています。約一ヶ月間全力でがんばります。よろしくお願ひします。

